

2026年1月5日

各位

Chordia Therapeutics 株式会社  
<https://www.chordiatherapeutics.com>

### 田中宜之氏が Chief Medical Officer (CMO) に就任

Chordia Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅洋）の Chief Medical Officer (CMO) に 2026 年 1 月 1 日付で田中宜之氏が就任しました。田中氏の就任により、当社は臨床開発体制を一層強化し、rogocekib の米国臨床試験を迅速かつ着実に進めていきます。

#### CMO 田中宣行氏のプロフィール

氏名	略歴	
たなか よしゆき 田中 宜之	1998 年 10 月 2005 年 11 月 2025 年 7 月 2026 年 1 月	米国セントルイス ワシントン大学医学部 バイオロジックキャンサーセラピープログラム リサーチフェロー MSD 株式会社（旧万有製薬）クローバル研究開発本部 クリニカルリサーチ領域統括部長、オンコロジーサイエンスユニット 統括部長等歴任 Chordia Therapeutics 株式会社 医学専門家 同上 CMO 就任

#### 代表取締役 三宅氏のコメント

「田中宜之氏の当社 CMO 就任を心より歓迎いたします。田中氏は医師免許取得後、日本でがん治療の臨床・研究に従事し、その後米国セントルイス・ワシントン大学医学部に留学。帰国後、米国 Merck 社の日本法人 MSD 株式会社に入社し、約 20 年間にわたりワクチン、感染症、がんなど幅広い領域で革新的な医薬品開発に取り組み、多数の医薬品を世に送り出してきました。直近では、MSD にてがん領域の臨床開発統括部長として、日本における抗がん剤開発をグローバル戦略のもとで指揮しました。2025 年 7 月 1 日、田中氏は医学専門家として当社に参画。当社は現在、米国で実施中の rogocekib 第 1/2 相臨床試験が重要な局面を迎えていました。このタイミングで田中氏を CMO として迎え、臨床開発体制を強化し、米国の治験医師との連携をさらに深めることで、rogocekib の開発を迅速かつ着実に推進します。また、田中氏の豊富な臨床開発および薬事規制の知見を最大限に活かし、将来的な承認申請に向けた準備を万全に進めてまいります。田中氏の就任を契機に、当社はさらなる成長と革新的な医薬品の創出と企業成長に向けて邁進してまいります。」



## CMO 田中氏のコメント

「日本発、世界初の画期的な抗がん薬パイプラインを創出している Chordia Therapeutics の CMO として、臨床開発を担えることを大変光栄に思います。がんで苦しむ患者様に革新的な治療を、より良い形で、より早くお届けするため、これまで培ってきたグローバル開発と薬事戦略の経験を最大限に活かし、開発を加速させてまいります。また、将来的な承認申請に向けた準備を着実に進め、Chordia の企業価値をさらに高めることで、患者様とステークホルダーの皆様に貢献してまいります。」

## Chordia Therapeutics 株式会社について

当社は、臨床開発品を擁するがん領域専門の研究開発型バイオベンチャーとして、神奈川県藤沢市を本社として活動しています。私たちのリードパイプラインである CLK 阻害薬 rogocekib (CTX-712) は、米国での第 1/2 相試験を進行中です。rogocekib は、がんの脆弱性をターゲットにしており、有望な治療薬としての可能性が期待されています。また、当社は、リードパイプラインの rogocekib、MALT1 阻害薬 CTX-177 に加え、CDK12 阻害薬 CTX-439、GCN2 阻害薬など、複数のパイプラインの研究開発に取り組んでいます。

詳細は、当社ウェブサイト (<https://www.chordiatherapeutics.com/>) をご覧ください。

本リリースに関するお問い合わせ先  
Chordia Therapeutics 株式会社  
IR マネジャー 吉良  
[ir@chordiatherapeutics.com](mailto:ir@chordiatherapeutics.com)